

宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	76.3	74.9	72.4
	書くこと	74.3	73.4	72.2
	読むこと	68.3	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	76.3	74.9	72.4
	書く能力	74.3	73.4	72.2
	読む能力	68.3	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	76.2	77.8	73.7

【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	51.8	51.9	51.2
	書くこと	34.9	34.0	34.4
	読むこと	61.0	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.5	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	34.9	34.0	34.4
	話す・聞く能力	51.8	51.9	51.2
	書く能力	34.9	34.0	34.4
	読む能力	61.0	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	73.5	70.5	69.8

★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

本校の状況を県平均と比較すると、次のような状況が見えてきた。

○「国語の勉強は大切だ」という回答は13. 7ポイント、「国語の授業で学習したことは将来役に立つ」という回答は14. 3ポイント上回った。また、「国語の授業内容がよく分かる」という回答も5. 2ポイント上回った。児童が国語の学習の大切さを理解して真面目に取り組んでいる様子がうかがえる。

○「読書が好き」という回答は10. 8ポイント、「資料を活用して話したり書いたりしている」という回答は10. 4ポイント上回った。また、「発表の時に話の組み立てを工夫している」という回答は9. 2ポイント、「理由が分かるように考えを書いている」という回答は14. 4ポイント上回った。学習の仕方が身に付いてきていることがうかがえる。

●「国語の勉強が好き」という回答が3. 3ポイント下回った。国語に対する興味関心を高める指導を工夫していきたい。また、「Bの問題を解く時間がやや足りなかった」という回答が11. 9ポイントも上回った。一定の時間内で文章の内容を読み取る力を付けさせたい。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○A: 話し合いの観点に基づいて情報を関係付ける問題の正答率は、県平均よりも3. 2ポイント高い。 ○B: 目的に応じて話し合いの観点を整理する問題や質問の意図を捉える問題の正答率は、県平均よりもそれぞれ5. 1ポイント、2. 7ポイント高い。 ●B: 目的に応じて話し合いの観点を整理する問題や質問の意図を捉える問題の無回答率は、県平均よりもそれぞれ1. 5ポイント、1. 6ポイント高い。	・授業において話し合いの学習を丁寧に行い、観点を整理したり立場を明確にして質問や意見を述べたりすることが体験を通して学べるようにする。 ・無回答率が県平均を上回った問題があったので、授業だけでなく個別に対応した指導も行って、文章の内容を理解し関係付けて考えることができるようにする。
書くこと	○A: 情景描写の効果を捉える問題や意味のつながりを捉える問題の正答率は、県平均よりもそれぞれ9. 9ポイント、3. 1ポイント高い。 ●B: 2つの詩を比べて読んで自分の考えを書く問題の無回答率は、24. 6%にも及ぶ。	・いくつかの条件を満たしながら、決められた字数内で自分の意見を書き表すことができるように、テーマに沿った文章を書く指導を継続して行う。 ・示された条件を全て満たすことができなくても、自分の考えや意見を書く習慣を付けることの大切さを伝えていく。
読むこと	○A: 新聞の投書を読んで表現の仕方を捉える問題の正答率は、県平均よりも3. 5ポイント高い。 ○B: 付箋に書かれた内容から最初の疑問を捉える問題や課題を解決するために本を効果的に読む問題の正答率は、県平均よりもそれぞれ11. 7ポイント、10. 0ポイント高い。 ●B: 詩の解釈における着眼点の違いを捉える問題の正答率は、県平均よりも2. 7ポイント低い。	・授業だけでなく個別に対応した指導も行って、複数の文章を比較し、相違点や類似点を読み取るができるようにする。 ・読書を推進し、量、質ともに内容を充実させていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○A: 漢字の正答率は、「勢い」の読みが8. 2ポイント、「祝う」の書きが9. 9ポイント、県平均よりも高い。 ○A: 故事成語の使い方の正答率は、県平均よりも「五十歩百歩」が6. 9ポイント、「百聞は一見にしかず」が17. 7ポイント高い。 ●A: 「～たり、～たり」という表現で書く問題の正答率は、県平均を2. 2ポイント下回っている。	・漢字の読み書きについては今後も習熟を図るように努めて、正しい字形で丁寧に書く練習を継続していく。 ・「～たり、～たり」などの表現については機会を捉えて繰り返し指導し、使い方が確実に身に付くようにする。